

令和7年度 全国学力・学習状況調査 指導方法等の改善計画

呉市立両城中学校
(両城中学校区)

全国平均値との差

	国語	数学
呉市教育振興基本計画〈指標〉	+5.0	+5.0
令和8年度	—	—
令和7年度	+5.7	+7.7
令和6年度	+3.9	+4.5
令和5年度	+5.2	+1.0
令和4年度	+3.0	+8.6

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組

◎…各学校 ◇…中学校区

科目	比較	重点課題	改善の方策	検証	
国語	<p> 本校 60% 全国 54.3% 県 55% </p>	<p>◎文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることができることに課題がある。(設問3四)【読むこと】(正答率16.7%)</p> <p>◇事実と感想、事実と意見などの関係を、叙述をもとに押さえ、文章全体の構成を捉えて、要旨を把握することに課題がある。【読むこと】</p>	<p>◎普段から発言をしたり、文章を書いたりするときに根拠を求めることと、それが根拠として適切かどうかを確認する学習活動を設定する。</p> <p>◇説明的文章は、事実・意見(主張)を抜き出させたり、文学的文章は、主人公の心情の変化があるところを抜き出させたりするなど、要点、要旨を捉えさせる活動を仕組む。</p>	<p>◎全国学力の類似問題(第3学年11月)目標40%→44.2%であったが、書けない生徒も多く、読み取りと書く力の関連が弱いと考えられる。</p> <p>◇標準学力調査(第1・2学年12月)目標 全国平均との差+5.0→1年+4.5, 2年+4.9であった。我が国の言語文化に関する事項の力が不十分である。</p>	
	数学	<p> 本校 56% 全国 48.3% 県 47% </p>	<p>◎式の意味を読み取り、成り立つ事柄を見だし、数学的な表現を用いて説明することに課題がある。(設問6(2))【数と式】正答率28.6%)</p> <p>◇図や表から必要な情報を読み取り、言葉や数を用いて説明することに課題がある。【記述式】</p>	<p>◎◇日常的な事象を数学的な見方で捉え、数学的な表現を用いて説明する活動を充実させる。</p>	<p>◎全国学力の類似問題(第3学年11月)目標50%→59.5%であったが、類似問題に対応できたものの、汎用的に読み取る力に課題がある。</p> <p>◇標準学力調査(第1・2学年12月)目標 全国平均との差+5.0→1年+5.3, 2年+9.2であった。1次方程式や式の計算を伸ばす必要がある。</p>

【来年度に向けて】

国語科…生徒の問いを生かした授業展開を実施し、問いを解決する中で根拠を明らかにしながら文章を読んだり書いたりする力をつける。

数学科…日常的な事象を数学的な見方で捉え、数学的な表現を用いて説明する活動を充実させ、文章や図、グラフなど多くの情報を読み取らせる問題を多く取り入れる。